



江戸時代から学ぶ SDGs

「所有者がうつる 名前がうつる」



古着でオシャレ

新品の着物は高根の花。

古着の襟えりを付け替かえ、綿入れしながら
何度も着て、最後はまた古着屋へ売り、
そこで新しい古着を買う。

江戸中期からは、綿の国産化で綿織物が
大流行しました。



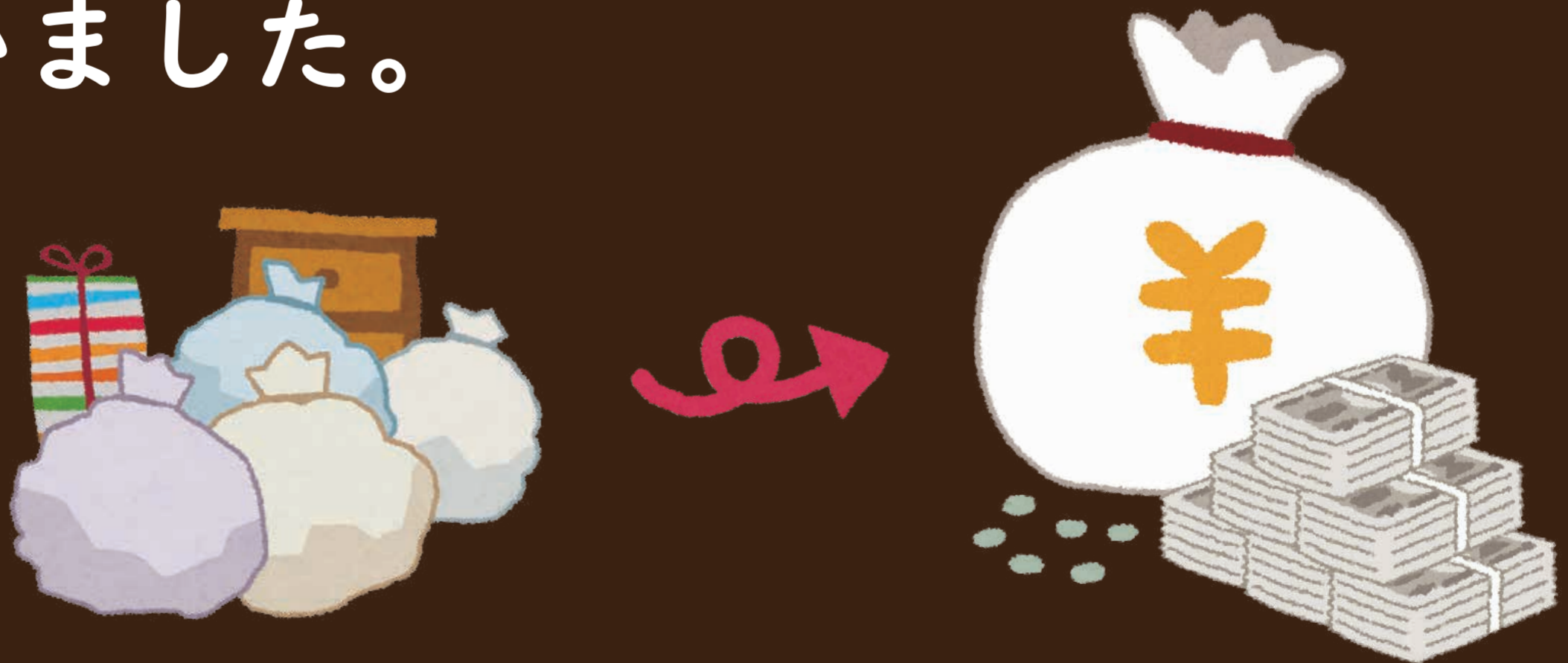
ごみがお金に

「^{はい}灰^{くず}買い」「紙屑^{ふるがさ}買い」「古傘^{ふるがさ}買い」

「ろうそくの流れ買い」

いろんなリサイクルが立派な商売として
確立されていきました。

灰は^{とう}陶器の^{ゆう}釉薬として、古傘は修理して
売られるなど、社会システムとして成り
立っていました。



排せつ物は、 大きなビジネスチャンス

当時の日本のトイレ事情は、他国に比べ非常に衛生的だったと言われています。

町中に公衆トイレができ、^{はっこう}発酵した^{はい}排せつ物は質の高い肥料として、土に^{かえ}還っていききました。

また、これは長屋の大家さんにとっても、貴重な財源でした。



「連」というサロン

身分制社会の一方で、絵画、俳諧、蘭学など身分をこえて集まる「連」が盛んでした。

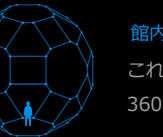
参加者は、芸名を持ち趣味を楽しむ、そんな多様で生きやすい世の中でもありました。



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.